

「特別支援学級運営充実検討委員会報告書」に基づく令和4年度の主な具体的取組について

項目	番号	報告書における「今後の方向性」	対応方針	実績
			具体的な取組内容	
I 特別支援学級に関わる教員の専門性の向上	①	・「当事者」や「保護者」の思いを聞く機会を設ける	特別支援学級運営充実検討委員会の委員による講演 (保護者：島優子様、香川育子様) ※特別支援学級担任者研修会 (新担任者対象)	R4年5月18日(水) 参加者88名 第2回特別支援学級担任者研修会(小学校新担任者) テーマ「保護者の思いに学ぶ」 講師：香川育子 様 R4年5月20日(金) 参加者53名 第2回特別支援学級担任者研修会(中学校新担任者) テーマ「保護者の思いに学ぶ」 講師：島 優子 様
	②	・特別支援学級の担任が、学級運営や指導支援を行う際に参考となる手引き等を作成	特別支援学級ハンドブックの改訂	5月18日及び、20日 第2回特別支援学級担任者研修会《新担任者》にて仮版を配付。
	③	・「心のバリアフリー☆アンバサダー養成研修」など、幅広く特別支援教育を学ぶことのできる環境を整備 ・障がい特性や支援に関する基礎的な知識を保有	特別支援教育「あどばいすタイム」を新設(オンライン研修会) ・場面緘黙等の障がい特性に関する基礎的な知識	4月20日「自立活動」(参加者21名) 4月25日「心理面への配慮と支援」(参加者15名) 5月10日「構造化(自閉症の指導)」(参加者26名) 5月25日「授業に集中するためのコツ」(参加者41名) 6月15日「スクールワイドPBS」(参加者27名) 6月29日「医療面からみた支援と配慮」(参加者31名)
	④	・ICTを活用した研修システムの充実	教員用e-ラーニングにおいて、特別支援学級担任向けの項目を追加 ・自立活動、各教科等を合わせた指導、特別な教育課程 など	【追加項目】 ※計4項目35問を追加 ・R4.7月「特別支援学級における特別な教育課程」 「障がい種別の特別支援学級」 「障がい特性に応じた支援や配慮」(1) 「障がい特性に応じた支援や配慮」(2) 【大学への依頼】 ・9月中旬までに100問程度の問題を作成
			「特別支援教育推進月間」の設定	・6月に実施(アクセス件数：6月末で10659件) ・11月に「第2回推進月間」を設定予定。
	⑤	・「学校コンサルテーション」を導入し、大学等の教育機関との連携のもと、特別支援学級担任や特別支援教育コーディネーターの指導力・実践力の育成につながる取組を推進	モデル校を設置し、鳴門教育大学発達臨床センターとの協働実施 ・鳴門市堀江北小学校(R3～) ・小松島市千代小学校(R4～)	○鳴門市堀江北小学校 <令和3年度> ・教職員向け校内研修会 令和4年3月17日実施 <令和4年度> ・校内研修会 4月28日、6月13日実施 ・第1回コンサル 9月30日実施予定 ○小松島市千代小学校 ・第1回コンサル 7月4日実施 ・第2回コンサル 9月～10月に実施予定
	⑥	・モデル校における取組の成果を検証し、取組のノウハウを県内の各学校へ横展開	モデル校の実践を報告 【R4】実践研究報告会でポスター発表	<令和4年度> R5年1月12日 ・実践研究報告会(小学校)にて実践報告を予定
ホームページ「まなびの広場」に公開			R5年5月公開予定	
⑦	・特別支援学校が取り組んできた「社会参加と自立に関する教育活動」や「自立活動」の取組を積極的に活用	特別支援学校教諭による講義 特別支援学校を会場とした実地研修(みなと高等学園等)	R4年5月～11月に実施する特別支援学級担任者研修会や通級による指導担当者研修会において、特別支援学校12校の教員が講師となり、障がい種別ごとの講義を15回実施。	

項目	番号	報告書における「今後の方向性」	対応方針		実績
			具体的な取組内容		
II 校内支援体制の充実・連携強化	⑧	・「徳島型メンター制度」を活用した支援体制を整え、長期的な視点に立った人材育成を行うこと。	管理職研修で周知し、校内研修実施		7月22日 「指導教諭研修」にてメンター制の中に特別支援教育を取り入れるよう周知 11月16日 「主幹教諭研修」においても周知予定
			校長会等で周知し、校内研修実施		6月21日 管区別校長会（小・中学校）において、メンター制の中に特別支援教育を取り入れるよう周知 ※今後、県立学校校長会においても周知予定
	⑨	・子どもたちが「ポジティブな目標」について主体的に話し合い、決定したことを学校全体で取り組むことにより、児童生徒が誰かの役に立つ経験や喜びを知る教育を推進すること。	研修受講の奨励 PBSの取組の紹介		○4月5日の小中学校連合校長会及び5月12日の幼稚園長等連絡協議会でPBSを広報 ○4月25日～6月30日（オンライン視聴）学校リーダー研修 ・ポジティブな行動支援の導入について ○6月16日 24市町村教育員会に対する説明会 ・ポジティブな行動支援の概要説明と実践事例紹介 ○6月21日の管区別教育長会・管区別小中学校長会でPBSを広報 ○6月28日 学校リーダー研修 ・校内支援体制「プチ」の実践事例紹介等 ○ポジティブな行動支援に関する研修依頼数 ・幼稚園3,小学校13,中学校区2,市町村等3計21(4月～8月末まで)
		好事例の紹介 (実践事例集Ⅲの発刊)		R5年2月に発刊予定	
III 関係機関等との連携の充実	⑩	・関係機関とつながるための相談ノウハウを、全ての教員に周知すること。	「相談ノウハウ」のチラシ等を作成・配付		原稿作成：7月上旬 研修会等で配付し、参加者の意見を基に改善 9月 特別支援学級担任者研修会等 10月 通級による指導担当者研修会 11～12月 特別支援教育コーディネーター研修会
	⑪	・オンラインを活用するなど、必要な時にすぐ相談できる体制を整備	特別支援教育「あどばいすタイム」の活用		「あどばいすタイム」終了後に相談機会を設定 (相談件数11件)
			メール相談の広報・活用		4～7月のあどばいすタイムのチラシに掲載
			特別支援学級担任が書き込める掲示板の設置		○令和5年度からモデル地域で実施 ○悩みや情報交換の場として活用 ○効果と課題を検証
	⑫	・大学等との連携のもと、誰もが活用できる支援ツールをインターネット上に公開 (「FAQ」のような質疑応答集の作成)	「FAQ」形式の質疑応答集を作成し、ホームページ 「特別支援まなびの広場」へ公開		R4.7.12 総合教育センターホームページ 「特別支援まなびの広場」にFAQを公開。 (20項目)
⑬	・オンラインを活用し、特別支援教育に携わる教員が、情報共有を行ったり、相談したりできる機会を設定	地域別事例検討会の新設 【R4～】特別支援学級担任者研修会		○R4.6月～10月 集合やオンラインの開催形式により、「地域別事例検討会」等を計37回実施予定。 ○対象：全ての特別支援学級担任及び通級による指導担当者	
IV その他	⑭	・特別支援学級運営充実推進委員会の設置と開催	「特別支援学級運営充実検討委員会報告書」に基づく取組の進捗状況等の確認を行う「特別支援学級運営充実推進委員会」を設置・開催		令和4年8月2日：第1回推進会議を開催 令和5年1月予定：第2回推進会議を開催